



碧南ロータリークラブ週報

第2687回例会 平成26年5月14日(水)

- 会長 長田 豊治
- 幹事 岡本 明弘
- 会場監督(SAA) 角谷 信二

2013-2014 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内 TEL<0566>41-1100
- 例会場 碧南商工会議所ホール 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 鈴木泰博・奥津順司・杉浦栄次

● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

会 長 挨 拶

田んぼには水が張られ、田植えも進んで心の和む日本の原風景が見られるようになりました。古くから日本の季節は米作りと共にありますので、何故か安心しています。

さて、碧南市藤井達吉現代美術館では小原和紙工芸展が始まりました。小原和紙工芸は工芸品であった和紙すきを、藤井達吉先生が農村美術館の構想のもと美術作品としての和紙工芸の指導をされ、お弟子さんの血の滲むようなご努力で現在の地位を確立されました。まさに藤井達吉翁の手塩に掛けた子供のようものです。やっとな碧南の地で展覧会が開かれますので、お出かけ頂きたいと思います。

会期は5月25日の日曜日まででございます。ちなみに入場無料です。



長田豊治会長

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第11回理事会報告と例会変更等は幹事報告書の通りですので、よろしくお願い致します。
- ・ 本日会員全員のメールボックスに臨時総会の案内が入っております。これは2013年、RIの規定審議会で定款が改正になりました。それに伴う碧南ロータリークラブの細則の改訂であります。本日、委員長の方からクラブ細則の案内がございます。



岡本明弘幹事

細 則 改 訂 報 告

碧南ロータリークラブ委員会規定の、第1条委員会の設置内の第5節、新世代奉仕委員会という名称になっておりましたが、青少年奉仕委員会という名称に変更になりましたので、よろしくお願ひ致します。

この規定は平成26年7月1日より、改正・施行されますので、よろしくお願ひ致します。



新美宗和
ロータリー情報委員長

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 69 名 (内出席免除者 9 名の内出席者 6 名)出席者 53 名	
出席対象者 53/65 名	出席率 81.54%
欠席者 16 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率 98.48%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 中根 佑治君 家族に大変うれしい事がありました。
- 新美 宗和君 数日前に還暦になりましたが、その数日前にいきなり2人の孫ができました。
- 黒田 泰弘君 長田昌昇さんに一生かかっても履ききれないほどの大量の高級革靴を頂きました。我家の家宝として末長く愛用させて頂きます。ありがとうございました。

卓 話

「雅楽について」 杉浦秀延君

杉浦でございます。本日は、雅楽についてという事で、師匠より、十分にやってきなさいと言われましたので、短時間ではございますが、お話をさせて頂きたいと思ひます。

雅楽では時計などの金属類ははずさなければなりません。楽器や衣装などに傷ついてしまうからです。本日は資料に沿ってお話をさせて頂きます。

雅楽とは、正しい上品な音楽、癒しの音楽、俗にいう眠気を誘う音楽でございます。日本人には雅楽の DNA が入っておりまして、あまりにお気持ちいいので寝てしまうという事です。それから当然でございますが、眠る事はいい事でございます。



杉浦秀延君

雅楽は3つに分類されます。

一つ目は、「国風歌舞（くにぶりのうたまい）」でございます。お宮などの神楽（かぐら）、宮中などの東遊（あずまあそび）などがございます。

二つ目は、お隣の大陸からの楽舞の唐楽や高麗楽などがございます。資料に左方と右方とありますが、左方というのは舞台の左側から出てくるのが左方（唐楽）、右側から出てくるのが右方（高麗楽）でございます。衣装にも違いがありまして、左方は派手なオレンジなどの衣装でございます。右方は、緑の衣装でございます。舞台の上手と下手がございますが、上手は右方、下手は左方でございます。

三つ目は、歌ものでございます。お琴をひきながらの歌でございます。非常に日本らしい音楽でございます。

次はお稽古についてです。雅楽に楽譜というのにはございません。一応、簡単な楽譜はございますが、正式な楽譜ではございません。正式な楽譜にしてしまうと著作権が発生してしまいます。これには一部嘘がかいてありまして、師匠からここが違うから気をつけるようにとも言われております。お稽古に書くものは許されません。全て頭で覚えなければなりません。楽器をもつまで1年ほどかかります。楽士の言った事を全て覚えるという事になります。

楽士になるためには、血の滲む様な努力が必要でございます。脱落者もおります。全国で26名しか採用されません。半分は民間人でございます。有名な方ですと、東儀秀樹さんがおられます。東儀秀樹さんが有名になられてから、若い女の子の人気が出てきまして、雅楽というものに触れてもらういい機会になったのではないかと思います。

ここで少し資料にそって拍子をやりたいと思います。四拍子は、上、上、下、下、で、一拍目と三拍目が強く、二拍目と四拍目が弱く拍子をとります。しかし、メトロノームが役に立ちません。これが洋楽と雅楽の違いでございます。四拍子から一拍子の間に少しためがあるからです。同じ四拍子でもここが違います。間の取り方が違うのです。ここが曲によって味わいが出てくる要因でございます。

楽器のお値段ですが、高いものだとベンツぐらいするものもございます。

箏（ひちりき）はだいたい30万円ほどします。小学校の男の子はすぐに音が出てしまいます。女の子は優しい音が出ます。

次に横笛ですが、正式には3種類ございます。先ほど雅楽の3種類についてお話致しましたが、それぞれによって笛が異なります。龍笛（りゅうてき）を使う唐楽に対し、高麗楽は高い音を出さないといけなため、笛も細くなっております。穴が一つありません。もう一つは、日本雅楽で使用する神楽笛でございます。神楽笛は日本全国微妙に異なりますが、私の笛は細くなっております。中は漆がはってあります。先輩から代々伝わってきたもので、私がつけているのは、100年前のものでございます。

他には笙（しょう）というとても高い楽器がございます。竹が17本ありまして、音が鳴らないのは2本でございます。「こつ」という音が一番出すのは難しいと言われております。それはなぜかと言いますと、こつがいるからでございます。これは、笙が語源となっております。中にリードが入っているのですが、すぐに湿ってしまいます。すぐに乾かさないとけません。それを乾かすのに、笙炙りというコンロのようなものを使います。使用後も乾かさ

ないと次は使えません。値段は、最低でも20万円、最高は高級ベント1台分でございます。

本日は、私の担当する楽器が龍笛なものですので、そちらを演奏したいと思います。

また、お歌の事を「御製（ぎよせい）」といいます。当時の宮内庁の楽長がお作りになりました。これはどこの神社に行っても全く同じでございます。

「天地（あめつち）の神にぞ祈る朝なぎの海のごとくに波たたぬ世を」

5・7・5・7・7でございます。これを見かけたら浦安の舞だという風に思い出して頂けたらと思います。浦安の舞は正式には雅楽の曲ではございません。新しい神楽の曲でございます。皆さんに知って頂きたいという事で、近代の曲でございます。

最後にこんな感じだという事で披露をさせて頂き、卓話とさせて頂きます。

次回例会案内

平成26年5月28日（水）18：00～ 碧南商工会議所
卓話「音楽のしらべ」 前田文隆氏、白川るみ氏